

「結い」だよ

「結い」だよ

第55号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市東川原1-1
TEL 086-270-5552
FAX 086-270-5554
発行責任者
前田 勝子

65才になっても(非課税世帯は)無料で、障害者自立支援法の介護給付が受けられます!

障全協新聞にとてもうれしく、わたしたちにとつて大きな1歩となる記事が載っていましたので、掲載の許可をもらい1面に載せさせてもらいます。

浅田訴訟 岡山市を変える!!

浅田さんが65歳で介護保険の申請を強制され、それまで障害者自立支援法による身体介護で月249時間の介護給付を無料で受けられていたのが、介護保険では月100余時間しか受けることができず、しかも3万5800円の支払いが発生するたため介護保険を申請しなかったら、今まで使っていた(障害者



自立支援法による)介護給付が打ち切られました。そのため岡山市に対し介護を打ち切ったのは不当だと裁判に訴え5年においたる裁判の結果地裁・高裁に勝利したのです。その結果65才に

喜楽の配達車購入のために きょうされんの冬バザーに 取り組みます!

喜楽では利用者の力を伸ばしA型事業所も視野に入れ、みんなができる形で黒字化を目指そう!とがんばってきています。



少ずつ努力が実り、今年度に入り4年ぶりの上半期の黒字となりました。しかしながら、毎月の工賃を支払うので精一杯で、夏もボーナスを支給するに至りません。また、配達車も10年以上乗っており、いよいよエンジンが故障。買い替えるが必要となりました。そのため今回の冬バザーでは、新しい配達車を購入するために売上30万円を目指し、とりにていきたいと思います。

11月始めより皆様にお配りいたします。お手元に届きましたらぜひ目を通していただき、ご協力をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき私達の活動を支援してくださいますようよろしくお願いいたします。また、2019年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願いいたします。

<お振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人:年1口 千円 団体:年1口 3千円)



なっても障害者自立支援法による無料の家事援助や身体介護が受けられるようになり、全国の仲間が大変喜びました。

岡山市に在住のOTさんは11月に65才になるため介護保険申請の勧告を受けましたが、介護保険は申請せず障害者自立支援法の継続を希望し認められました。(以上 2019年10月15日発行 障全協新聞から)

この動きは全国に広がっており、愛知県一宮市では「介護保険の利用申請をせず、障害福祉を利用継続する希望者には認めろ。」と豊田市が明言。裁判の勝利は宮崎市・大阪市・東大阪市大村市(長崎)での障害福祉サービスの継続や、京都市や新潟市での介護保険から障害福祉サービスへの変更を認めさせるなど運動の成果と広がりを見せています。

介護保険と障害福祉サービスは目的が違います。今まで障害があっても障害がない方々と同じように生活を送りたいと支援してもらって来た部分を、なぜ65才になったからと、介護に変えないといけないのでしょうか。

65才になっても、障害福祉サービスをあきらめ介護を受けるのではなく、その人らしく年をとり納得がいく人生が送れるようになってほしいと思います。この道を切り開いていただいた浅田さんの勇気と支援者の方々へ感謝をこめてありがとうを伝えたいと思います。



Yショップ ハロウィン イベント

ワイショップではハロウィンに合わせて10月のはじめから、来店して下さったお客様にお買物をもっと楽しんでいただくとうと、ハロウィンをイベントを企画しました。



冬は売上が落ちるので、少しでも楽しんで来店していただけるようにと今年考えた企画は

全部で5つ。

- くもの巣ダーツ
 - ハロウィンガチャガチャ
 - がいこつ投げ
 - ハロウィンフリスビー
 - お楽しみ企画
- 当たった方には、1等は商品券や他にもお菓子やクリアファイルなどの景品を進呈しました。店内の飾りつけにもこだわり、お客様にも喜んでいただけたかと思えます。



12月には今年もクリスマスケーキの販売に取り組みます。昨年は65台の販売をしました。今年さらなる売上を目指して頑張りますので、こちらもお手元にパンフレットが届きましたらぜひご覧になってください。



作業所旅行 今年は神戸です！

みんなの1年に1度のビッグイベントである作業所一泊旅行今年も行ってきました！昨年の高知に続き、今年はバスを借りての神戸旅行となりましたが、わくわく！とのつばから総勢21名の参加があり賑やかな旅行となりました。



北野 うろこの館

神戸にみんなの旅行で行くのは10年以上ぶり。今回はハーバランドでのショッピングに始まり、北野異人館めぐり、神戸中華街と一日から盛りだくさんな内容。神戸港を見渡せる観覧車に乗ったり、岡山にはないお店で

ショッピングを楽しみ、夜の中華街でのディナーの後では有志で夜景を見にポートタワーにも上がりました。



二日目は癒しを求めて須磨海浜水族園へ。かわいいイルカのショーに癒され、イルカを飼いたい！と真剣に考えるメンバーも。そして今回の旅行の最後のイベントとしてグリコの工場見学にも行きました。

行く前からプリッツがつくられるところが見られ、さらにはお土産にオリジナルプリッツがもらえるところあって、みんなの話はグリの工場見学で持ち切りでした。実際に見た工場は、大きな機械に次々とお菓子が流れてきてそれは圧巻でした。二日ともに色々な観光地めぐり、みんなそれぞれに家族や旅行

津久井やまゆり園 障害者殺傷事件から3年

生命の重みを問い、
支援と人権を考える

岡山集会に参加して

9月22日(日)

きらめきプラザにて

2016(平成28)年7月26日未明、神奈川県にある知的障害者福祉施設「津久井やまゆり園」において元施設職員による入所者19名を刺殺し入所者・職員計26名に重軽傷を負わせた大量殺人事件がありました。

この事件は第二次世界大戦後の日本で発生した殺害事件としては最も多く、また犯人が元施設職員であったこと、さらに「障害者なんていなくなってしまう」という犯人の供述が伝えられ社会へ、そして私たち福祉職員へ大きな衝撃を与えました。この事件から3年。しかし最初こそ報道でもとりあげられていたが、この事件の真相解明や再発防止については活発な議論がなされないままでした。それに対し施設で働く職員が事件3年目の企画として「施設の責

任を考える集い」を思い立ったのです。

実行委員会形式で企画されたこのセミナーは第1部がトークセッションとして「被告に対し福祉現場からの率直な意見をもとに反論する」として4か所の施設から管理者の方、美作大学社会福祉学科の准教授が参加され活発な討論を交わされました。第2部はシンポジウム「いま問いなおす 生命の重さ」として座長をNPO東備 ユートピア所長 大谷俊之氏が行い、今も被告に毎月接見しこの事件が提起した問題を追い続けている月刊「創」の編集長篠田博之氏をはじめ4名の方々が登壇し熱い議論をかわしました。

セミナーに参加してみても「(この仕事は)簡単な仕事だ。」と言ったということが言われていて、とてもびっくりしました。施設としては、犯人(その時は職員)に対して、どう思っていたのだろうか。施設側のコメントはまだまだでておらず、どう思っていたのか聞いてみたかった。と思いました。(ワークハウス・わくわく!職員)

に行かず仕事をがんばってくれてる仲間にお土産をたくさん買いました。もってきた荷物以上のお土産をみんな嬉しそうに抱えての帰路となりました。



リニューアルした 喜楽御膳の紹介

林病院内喜楽ローザ店にて提供していた日替りランチですが、今年10月からの消費税増税に合わせてリニューアルを行いました。

消費税が10パーセントに上がることで、ワンコイン500円で提供していたランチを値上げするかしないかについて、みんなでも話し合いを行いました。

お客様に喜んでもらうにはどちらがいいのか頭を悩ませた結果、やっぱりワンコインで食べられるという気軽さは残したいとの結論に至り、がんばってお値段は据え置くこととしました。代わりに日替わりランチを喜楽御膳という形でイメージも新たに仕度も替え、和風の統一感のある御膳にしました。

新しい喜楽御膳に、お客様からも「入れ物が変わるだけでも雰囲気がおく変わるね」、「箸置きを使うようになってかわいいね」などの声をいただいています。皆様、お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



喜楽御膳(税込500円)

営業日 月曜日～金曜日
朝11時～昼14時